

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 44 事業名 鉄道活性化事業（JR紀勢本線・JR和歌山線）

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	2	公共交通体系の充実
施策	1	公共交通機関の機能強化
取組	1	公共交通機関の充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	交通政策課	米澤 範和 (435-1016)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		交通政策費	
	大事業		交通政策事業	
事項		鉄道活性化事業		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	JR和歌山線及びJR紀勢本線をはじめとした鉄道路線の活性化に向け、利便性向上や利用促進を図る。	JR紀勢本線活性化促進協議会、和歌山線活性化検討委員会等の総会、幹事会への参加、要望活動、啓発活動により、各線の利用促進を図る。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発物資の配布。和歌山線：幹事会・総会への出席、視察研修、啓発活動（HPの開設、パンフレットスタンドの設置）	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動。和歌山線：幹事会・総会への出席、視察研修、啓発活動（スタンプラリー）	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、PRティッシュ製作 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動（スタンプラリー）	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動（子ども絵画展） 鉄道を中心としたまちづくり調査事業 鉄道利用需要調査検討事業	紀勢本線：幹事会・総会への出席、要望活動、啓発活動 和歌山線：幹事会・総会への出席、啓発活動

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	311	318	311	317	322	308	2,305	6,009	305	
伸び率 (%)	-	-	0.0%		3.5%		615.8%		-86.8%	
人件費	常勤職員	3,823	3,840	3,823	1,858	1,858	1,981	1,858	1,940	1,858
	非常勤職員									
	小計	3,823	3,840	3,823	1,858	1,858	1,981	1,858	1,940	1,858
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	311	318	311	317	322	308	2,305	6,009	322	
所要人数	常勤職員	0.5	0.5	0.5	0.25	0.5	0.26	0.5	0.26	0.5
	非常勤職員									
主な予算内訳	負担金270千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標達成度					
JR紀勢本線活性化促進協議会（総会、幹事会）への参加	年度目標値	3	3	3	3	3			
	実績値	3	3	2	3				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	66.6%	100.0%				
	全体目標達成度								
JR和歌山線活性化検討委員会（総会、幹事会）への参加	年度目標値	4	4	4	4	4			
	実績値	4	4	4	4				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
	全体目標達成度								
運行本数（紀勢本線）	年度目標値	77	77	77	77	77			
	実績値	77	77	77	77				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
	全体目標達成度								
運行本数（和歌山線）	年度目標値	69	69	69	69	69			
	実績値	71	71	71	71				
	年度別達成度	102.9%	102.9%	102.9%	102.9%				
	全体目標達成度								

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	JR紀勢本線、JR和歌山線等の市内鉄道路線は、市民の通勤・通学あるいは、通院やレジャーなどあらゆる目的に必要な移動手段であり、また、市外の都市を結ぶ広域的な路線であるため、利用者の減少によるサービスの低下等に陥らないよう利用を促していく必要がある。
「見直し」 「改善」案  ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	